

## 全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名	社会
-----	----

	指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)	具体的な授業改善策	補充的・発展的な 学習指導計画
第3学年	・体験的な学習を重視し、地域の様子や特色など、具体的に理解できるような指導をしているが、資料を読み取る力、活用する力や社会的事象への知識、理解、興味関心に個人差があるため、全体での定着を図るために指導が必要である。	・一つ一つの学習に対して教材教具の準備をしっかりと行い興味関心をもたせ、丁寧に指導していく。また、絵地図、白地図、新聞作りなどの作業を取り入れる。その際、子ども達がどのようなイメージや経験をもっているかを把握し、学習過程での個々の支援を徹底する。	・作業や体験を通して、様々な方法を用い、複数の具体例について、調べる・試みる・確かめるなどをして定着を図る。 ・学習テーマや活動方法を示唆したり、作品モデルを提示したりするなどの指導、支援をする。
第4学年	・関心をもって体験・見学し、事故や火事、ゴミ問題・水の節水等、自分達の問題としてとらえ生活を見直し改善しようとする意欲をもつように指導している。調べたことを分かりやすくまとめ、表現する力の向上が望まれる。	・自分の生活の周りに目を向けさせ、家庭での生活の振り返りから授業を展開し、日常から意識を高めさせる。調べたことをもとにして、自分の考えを深める。そして、まとめる技能を高めるための例示などによる支援を行う。	・教科全般で、日常的に自分の考えや分かったことをまとめる活動を行っていく。 ・新聞などを鑑賞したり交流したりすることで、相互で学習したことを高め合い、自分自身の生活を振り返えさせる。
第5学年	・日本各地の特色やくらしの工夫等、様々な社会的事象を自分たちの生活と関連づけて考えることが苦手である ・調べ学習では、課題に沿った内容をまとめることはできるが、深く考察することに課題が見られる。	・教科書に書かれている社会的事象が自分たちの身近な問題であることには気付かせ、課題に対する意欲を高める。 ・調べ学習等で具体物を示したり、社会科見学や体験学習で実際に見聞したりする機会をもたせる。	・様々な課題を子供たちの生活と関連づけて提示したり、考えさせたりして、身近な問題として捉えさせる。 ・新聞やポスターなど様々なまとめ方を指導する。 ・学んだことを生かし、よりよい生活や社会の在り方を考えさせる。
第6学年	・歴史の認識には大きな隔たりがあるが、新聞づくりや、パンフレットづくりなどにおいて、児童は意欲をもって活動している。	・日本の歴史等、興味関心をもてるような本を多く読ませたり、ビデオ教材を活用したりして、意欲的に学習に取り組ませる。	・インターネットや読み物資料などを活用し、幅広い視点からの歴史観をもたせるようにする。